

理
窓

理窓教育会報

第28号

平成18年8月28日

東京理科大学理窓教育会

事務局 東京理科大学理窓会館4階

巻頭言

『新たな提案・実施と会員の協力を』

東京理科大学理窓教育会
会長 (33K)酒井 洋

東京理科大学は本年6月14日をもって創立125周年を迎えた。明治14年寺尾壽先生を中心として、『理学の普及こそ国運の発展の基礎である。』との高邁な理想に賛同したメンバーは全員、明治11年から13年までの間に、OB 21名であった。日本で最初の私立の理学が学べる東京物理学講習所として創設されたのである。

運営に当たったの資金は、21名の出費で賄われていた。

時代は移り、歴史と伝統を重ねても、建学の精神、教育理念は、脈々と継承されていかなければならないのである。私どもは常に原点に立って同窓生として、母校に誇りを持ち、互いに切磋琢磨する責任がある。

特に理窓教育会に所属する者は、次代を担う青少年の育成に関与できるという幸せな立場にある。この崇高な職業を通して、大学のため社会のために何が出来るか、知恵を出し合い、その一つとして東京理科大学に推薦入学した高校生を平成19年1月から3月までの期間を活用して、学力向上をはかる「入学前学習支援」事業を大学に提案したのである。大学当局は、早速検討され、来年の入学生から導入することを決定したのである。その骨子は、問題解決能力を高める問題集の作成とその添削指導である。対象教科は『数学、物理、化学』である。現在、大学教員と理窓教育会が推薦した各教科2名ずつの計12名が、『東京理科大学入学前学習委員会』を結成し、問題作成に取り掛かっている。文部科学省は、理科の授業で実験や教材作りを手伝う指導助手を来年度から全国の小学

校に配置することを決めた。地域の大学院生や退職した技術者・研究者が教員を支援し、理科教育をてこ入れする。初年度は、全国の小学校の約1割に当たる約2千校でスタートする。

日本の子供は理科への興味が低下しており、小学4年生を対象にした国際教育到達度評価学会(IEA)の03年調査では、『理科の勉強が楽しいと強く思う』と答えたのは45%。国際平均の55%を下回る。

理科離れの一因とされるのが教員自身の理科嫌いだ。

この理科離れ防止への『東京理科大学の取り組み』として、大学内に『サイエンスエデュケーションセンター』を新設する。主な活動内容は、『小学校・中学校・高等学校における講義へのマネジメント、教科書・教材及び教育方法の開発・提案、大学院理科教育専攻の院生の登録及び教育方法の開発・提供、実習の斡旋、専門家退職教員の登録及び斡旋』で、その協力要請があった。

去る6月17日(土)の理窓教育会理事会の議題とし、各理事から小学校現場の実態から、小学校教員免許状取得に際し、理科実験等実習を付加する。また、現職教員の理科実験等の実習修得のための再教育は焦眉の急である。理科助手制度は、根本的な解決策ではないとの意見が多数であった。

以上今年度の新たな取り組みと現況報告である。会員皆様のみならずのご健勝と当会へのご支援とご協力をお願いする次第である。

東京理科大学理窓教育会18年度総会

第1号議案 平成17年度会務報告

(33S) 開沼恒治

1. 東京理科大学理窓会総会

平成17年5月25日(水)東京理科大学1号館17階記念講堂において開かれた。各支部長に下記の事項の議案を送付し、回答をいただいて集計し、総会で報告、承認された。

平成17年度の会務報告及び会計報告、平成18年度の活動計画及び予算案が承認された。

教育会会則の改正案が提案された。総会で、第11条付則3、中部()地区の長野支部を中部()地区に移す案が出された。

2. 組織の充実、強化に関して

各支部の活動状況

12月3日群馬支部総会

発足準備中 栃木支部総会

12月3日静岡支部総会

7月24日鳥取支部総会

8月20日千葉支部総会

地区別支部長会

9月11日茨城支部総会

6月20日九州地区支部長会

9月17日東京支部総会

7月2日近畿地区支部長会

10月1日青森支部総会

9月24日関東地区支部長会

10月1日山梨支部総会

会報発行

11月12日岩手支部総会

第26号平成17年8月24日発行

11月27日秋田支部総会

第27号平成18年3月4日発行

3. 理窓教育会活性化プロジェクト委員会の発足

平成17年11月5日の理事会で提案された。会員増大、経理改善、大学との連携強化などに取り組み、会の活性化を図ることをねらいとする。

理事会の中の小委員会として発足した。

4. その他の活動

次の については平成18年3月4日、東京理科大学・森戸記念館において行われ、来賓としてご出席の竹内伸新学長、塚本桓世理事長、澤田利夫数学教育研究所所長、亀田光昭科学技術振興会理事長、山下輝雄生涯学習センター課長から激励の言葉をいただいた。

管理職に初めて昇任された方々への記念品贈呈

年度当初、各支部長にお願いして管理職の調査を行っている。この調査に基づき、平成17年6月に昇任された方々に記念品を贈り祝意を表した。

新規採用教員予定者激励会の開催 東京支部の主催で採用予定者17名を招いて激励会を開催した。

編集委員会

平成17年7月20日第26号の発行について

平成18年2月20日第27号の発行について

指導委員会

生涯学習課が実施する教員希望学生特別講習会(3年生対象・合宿クラス・4年生対象)、帰国子女入学予備教育講座へ講師を紹介した。講師・職員が集い反省会実施(1月)

就職課が実施する教職ガイダンス(4月は4年生対象、11月は3年生対象)及び面接指導(8月2次試験対策)への講師を紹介した。

研修委員会

東京都管理職選考の方法が変わり、研修のあり方を検討中。

以上東京理科大学神楽坂校舎1号館17階記念講堂で行われた。

昨年と同様、あらかじめ、活動報告、決算報告、活動計画、予算、規約改訂の案文を各支部長にお届けし、ご意見等を返信していただき、会長、副会長、支部長、理事等20名のご

出席をいただき、承認された。ここで、特に4点についてお願いし、お知らせしたい。

活動を活発化させるもととなる会費納入状況が、東京、埼玉、広島、静岡等が30名以上納めている反面、全く納めていない支部数が15、1名が11ということなので、各支部で一層の努力をお願いしたい。

大学125周年事業への募金活動にも応分の協力を重ねてお願いしたい。

新規約により、会の名称は東京理科大学理窓教育会となった。

(39S)磯脇一男氏が、会長より理窓教育会の参与に委嘱された。

以下各議案の報告を担当理事より報告いたします。

第3号議案

平成18年度活動計画案

(33S) 開沼恒治

(平成18年5月1日～平成19年4月30日)

1. 総会

平成18年理窓教育会総会は、「書面総会」方式とする。

理窓教育会総会は規約により、支部長会をもって、これに替えることができるとあり、例年、「大学・高校長懇談会」の日に行っていた。この度、大学側から、支部長への旅費等は支給できないとの通知があった。このため、支部長会(総会)が開催できなくなり、「書面総会」方式とすることにした。

2. 各支部総会

各支部で実施する。実施状況を、会報第29号に掲載する。

3. 地区別支部長会

地区別支部長会を実施する。開催を希望する地区の副会長は開催日、開催地等を本部に申し出る。

4. 会報発行

第28号、第29号を発行する。

5. 財政の健全化に向けて

財政の健全化を期して会費納入者の増加を図る。

第27号発送宛ラベルの右下部に会費納入最終年度の極小数字を記載し、会員の納入年度の確認に利用していただくよう改善した。今後も続けていきたい。本会維持のための会議、会報編集、印刷、発送等の業務のため、相当の経費がかかる。各支部におかれては、本部への年会費(1名あたり1000円)の納入の一層の呼びかけを願いたい。

6. 教育管理職受験者支援

ア. 管理職受験希望者への研修の、新しいあり方の検討をする。

イ. 管理職に昇任された方々への記念品贈呈と祝意を表す会(当分の間、東京支部が主催)を開催する。

7. 新規採用教員予定者激励会

全国の公立、私立学校教員採用試験に合格した学生を招待し、激励会(当分の間、東京支部が主催)を開催する。

8. 大学との協力促進

教員希望学生への指導、採用試験等の情報提供については従来通り実施し一人でも多くの後輩が教職に就けるよう協力する。

就職課ガイダンス、面接指導への講師派遣、生涯学習センター講座への講師派遣等の協力をする。

大学創立125周年記念事業への協力

ア. 趣旨に賛同し、その募金活動を継続推進する。

イ. サイエンスフェア(日本科学未来館6/17,18)の広報、参加に協力する。

ウ. ホームカミングデー(理窓会主催、10/8 野田校舎)の広報、参加に協力する。

大学の学生募集の協力

ア. 学生募集広報に協力する

イ. 第二部推薦入学の広報に協力をする。

大学の推薦入学者等「入学前学習支援」に協力する。

同委員会へ委員を派遣する。学習テキストの編集委員を派遣する。

答案添削委員を派遣する。

第2号議案 および 第4号議案

(25S) 小泉眞悦

第2号議案・平成17年度会計報告、第4号議案・平成18年度予算案 (25S) 小泉眞悦					
平成17年度 会計報告書				平成18年度予算	
(平成17年5月1日～平成18年3月31日)				(平成18年4月1日～平成19年3月31日)	
[収入の部]				[収入の部]	
科 目	予 算	決 算	比較増減	科 目	予 算
前年度繰越金	92,331	92,331	0	前年度繰越金	142,278
納入会費	350,000	271,440	-78,560	納入会費	350,000
理窓会正会員協力金	9,000	3,000	-6,000	理窓会正会員協力金	5,000
雑収入・利息	1,000	5,320	4,320	雑収入・利息	1,000
合 計	452,331	372,091	-80,240	合 計	498,278
[支出の部]				[支出の部]	
科 目	予 算	決 算	比較増減	科 目	予 算
交通費	40,000	75,000	-35,000	交通費	75,000
慶弔費	20,000	30,000	-10,000	慶弔費	30,000
会議費	40,000	9,000	31,000	会議費	20,000
支部長会積立金	150,000	0	150,000	支部長会積立金	200,000
事務費	30,000	30,208	-208	事務費	35,000
会報印刷費	50,000	23,455	26,545	会報印刷費	40,000
郵送費	80,000	60,050	19,950	郵送費	70,000
記念品代	40,000	2,100	37,900	記念品代	20,000
予備費	2,331	0	2,331	予備費	8,278
小 計	452,331	229,813	222,518		
次年度繰越金		142,278			
合 計	452,331	372,091		合 計	498,278
地区別支部長会費会計 平成17年度会計報告・平成18年度予算案 (25S) 小泉眞悦					
平成17年度 会計報告書				平成18年度予算	
(平成17年5月1日～平成18年3月31日)				(平成18年4月1日～平成19年3月31日)	
[収入の部]				[収入の部]	
科 目	予 算	決 算	比較増減	科 目	予 算
前年度繰越	800,055	800,055	0	前年度繰越	558,275
本年度会計より	150,000	0	-150,000	本年度会計より	200,000
受取利子	0	0	0	受取利子	0
合 計	950,055	800,055	-150,000	合 計	758,275
[支出の部]				[支出の部]	
科 目	予 算	決 算	比較増減	科 目	予 算
地区別支部長会費	500,000	241,780	258,220	地区別支部長会費	250,000
予備費	450,055	0	450,055	予備費	508,275
小 計	950,055	241,780	708,275		
次年度繰越金		558,275			
合 計		800,055		合 計	758,275
(H.18.4.27 作成)					
会計: 小泉眞悦(担当理事) 監査: 長澤智則(埼玉支部長) 大竹好文(千葉支部長)					

第5号議案 (会則に関する議案)

(33S) 開沼恒治

1. 第5条 監査(2名)に、埼玉支部長 長澤智則氏(47理修化)および千葉支部長 大竹好文氏(45理数)を理事会が推薦し、平成17年9月24日付で会長より委嘱した。

2. 会則の改正・施行

前年度の総会で、第11条付則3、中部()地区の長野支部を中部()地区に移す案が出されたので、長野支部、中部()地区および中部()地区の意向を伺ったところ、長野支部から、意志決定を保留していただきたいとの知らせを受けた。中部()地区副会長は長野支部の意向を尊重したいとの連絡があったので、次年度に再度提案する予定である。

総会総括

(33S) 開沼恒治

平成18年度理窓教育会総会は、現時点において、私たちのなし得る最良の方法として、「書面総会」の方式をとらせていただきました。従いまして、総会後に議案に対するアンケートを採り、全国の皆さんの意向を集計させていただきました。集計の結果は、

第1～4号、5号1議案につきましては、回答のあった支部が承認、賛成、異議なしでした。

長野支部の所属問題の第5議案2につきましては、来年度総会に再提案することになりました。

以上、今年度の総会は、きわめて厳しい状況の中で変則的な方式をとらざるを得ませんでした。それにもかかわらず、支部長等の皆さんのご協力で無事終了させていただくことができました。ご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。

参考資料

総会アンケートの集計

回答のあった支部数 19

1. 議案に関する回答

青森支部：特になし。

岩手支部：1号～5号議案承認。

宮城支部：1号～5号原案賛成。

茨城支部：1号～5号議案承認。

東京支部：1号～5号議案異議なし。

千葉支部：1号～5号議案に賛成。

神奈川支部：了解。

山梨支部：1,2,3,5,議案異議なし。

(4号議案不明)

長野支部：特になし。

静岡支部：1～3号議案了解、4,5号議案承認、

愛知支部(中部 地区副会長)：5号・2議案 長野支部の意向に従う。

他は了承。

富山支部：

1号議案 富山支部総会は、平成17年7月2日に開催している。

理窓教育会活性化プロジェクトについては、理窓会と理窓教育会との性格がはっきりせず、本県は現職教員とそのOBの一部で構成しているが、一般会員とは別に会費徴収をしており、その分負担増があり、拡大まではなかなかです。また、関東を中心とした活動であり、地方にとってメリットが生じないのが実情です。

3号議案 管理職受験者への支援については、本県の場合、小中学校での登用検査が2年に1度実施されており、その対応策として、市町村単位で、またはブロック単位で学習会が開催されている。特に、中央まで出掛けて受験する必要が生じないのが実情です。

その他、特になし。

大阪支部：特段の意見なし。

奈良支部：全議案に異議なし。

鳥取支部：特になし。

鹿児島支部：特になし。

沖縄支部：特になし。

2. その他の意見

東京支部：

多様化した生徒を教育するには、私も、積極的に多くの方との交流を深め、専門教科を充実させることは勿論のこと、他教科にも興味関心を持ち、視野を広めることが必要です。

このことは、同じ釜の飯を食べた同窓からの指導が一番身に付きます。

活発な活動を行うには、資金が必要です。全国組織としては、現会員の五倍を目標に、三年計画で、達成を試みてはいかがでしょうか。

推薦入学等「入学前学習支援」の編集委員委員の候補者を各地区で選出していただくことをお願いしたらいかがでしょうか。

山梨支部：

管理職昇任の氏名調査は困難を極めています。

静岡支部：

支部長会の中止は残念なことですが、やむを得ません。大学側の一層の健全財政に期待し、再び復活のためのご支援を待ちます。 以上



平成17年度 激励会 '06.3.4
於： 森戸記念館

新規採用教員・管理職選考合格者
激励会開催

東京副支部長（48S）廣瀬和昭

新規採用教員・管理職選考合格者激励会
が、3月4日東京支部の主催で東京理科大学
森戸記念館で開催された。

会には、多くの来賓の他、22名の現職、0
B教員、今年度の管理職試験に合格された会
員が出席し、新しい後輩の門出を祝った。
また、新規採用教員予定者は、57名の合格
者（神楽坂・野田）全員に案内を出し、その
うち22名が参加した。

酒井会長の開会の挨拶に続き、来賓とし
てご出席の塚本恒世理事長、竹内伸学長か
ら祝辞と激励の言葉をいただいた。教職課
程指導室の伊藤先生の合格状況の説明の後、
合格者を代表して、茨城県公立高校数学に
合格している鈴木秀俊君から感謝の意と決
意表明があった。

同じ席上で、東京都教育管理職の昇任試
験に合格された方への激励会も行われ、先
輩からの激励に続き、合格者から力強い決
意表明があった。

引き続き懇親会に入り、来賓としてご
出席の東京理科大学数学教育研究所澤田利
夫所長、(財)科学技術振興会亀田光昭理事長、
生涯学習センター山下輝雄課長から励まし
のご挨拶があった。磯脇教育会参与の乾杯
の音頭で懇親に入り、新採の諸君からは自
己紹介と教師としての熱い抱負が述べられ
た。また、各先輩から、いろいろなアドバ
イスがあり、和やかな雰囲気の下、同窓と
しての先輩・後輩の絆を深めつつ散会した。

管理職昇格者

平成18年度の異動で、多くの同窓が管理職
に昇格されました。心からお祝い申し上げま
す。

初めて管理職に昇任された方には、教育会
から記念品を送らせていただきました。

青森		
阿保民博	48 理物	五所川原高頭
岩手		
伊藤正博	44 理数	葛巻高長
菅原 通	48 理数	西和賀高長
秋田		
高橋秀一	48 理数	大館一中長
畠山員範	53 理応数	仁鮎中長
阿部義弘	58 理物	中滝中長
中村信弘	51 理化	秋田養長
小杉和夫	49 理数	大館高長
宮沢寿晴	52 理工数	金澤中長
青川 清	45 理応物	羽後高長
小松正孝	51 理数	栗田養頭
佐藤秀子	50 理化	仁賀保高頭
茨城		
藤田 修	46 理数	明野高長
小沼光一	54 理工数	守谷高頭
海老原治夫	55 理応物	岩井中頭
佐藤勝利	51 理数	石下高頭
土田尚宏	52 理工経	岩井高頭
稲見 隆	56 理応物	指導主事
栃木		
永岡 博	47 理応数	宇都宮女高頭
東京		
竹内愛樹		中長要員
山内武司		中長要員
坂本憲二	56 理数	高長要員
竹村精治	51 理応数	高長要員
東 孝夫		中副要員
鈴木鉄郎	54 理工数	中副要員
橋本 孝	56 理物	中副要員
上田晃一	53 理応物	中副要員
伊藤陽一郎	55 理工数	中副要員
斎藤 実	59 理物	中副要員
長野 基	58 理数	中副要員
渡邊俊哉	58 理化	中副要員
村松弘一	H5 理数	行政等要員
藤田佳子	62 理応物	行政等要員
湯浅泰美	H2 理化	行政等要員
神奈川		
水島耕成	52 理応化	大師高頭
西郷和寿	52 理数	多摩高頭

松枝英樹	48 理物	久木小長
池田 尊	54 理工数	大原高頭
山田義明	53 理応数	西湘高頭
長野		
橋詰浩明	49 理物	美須々ヶ丘高長
保科克弥	48 理数	北部高頭
静岡		
樋口和男	51 理応化	長泉高長
安田康一	49 理工数	池小長
三重		
村野温志		桑名工高長
京都		
原 純夫	49 理物	長岡三中長
谷内 博	55 理物	東城陽中長
徳島		
福岡卓一	47 理応数	鴨島商高長
長崎		
本村公秀	62 理化	指導主事
鹿児島		
石塚 寛	50 理物	岩川高長
豊島真臣	54 理応数	指導主事

なお、名簿が到着の県のみ掲載です。また前回の名簿と、今年の名簿から推測して掲載いたしました。

東京の場合は管理職試験合格者を掲載いたしました。また「副」とは副校長の略としました。

新任教師の抱負

東京都立杉並高等学校
教諭 岩葉 拓也

私は、今年の3月に大学院理学研究科理数教育専攻を卒業しました。大学院には、主に夜間の時間帯に通学し、昼の時間帯は私立学校で非常勤講師として、数学の授業を担当しました。

今年の4月から、都立杉並高等学校の定時制課程の教師として教壇に立っています。現在は、1年生の副担任をしています。授業は、全学年の授業を担当し、合計5種類の授業を行っています。教員生活がスタートして、約2ヶ月が経ちましたが、少しづ

つ新生活にも慣れ、大変充実した日々を送っています。

授業では、全日制の生徒と比べて、生徒の学力の差が非常に大きいと感じています。特に、1年生の中には小学校の時に算数が苦手とし、「自分は算数が苦手だったから、どんな問題も解けない」と最初から、あきらめてしまっている生徒もいます。そのような生徒に、数学を通して、成功する喜びや充実感を実感して欲しいと考え、中間考査が終わった5月下旬から、授業の始めに百マス計算を毎回の授業で行うことにしました。今まで、机に向かうことができなかった生徒も夢中に足し算を行い、前回の記録を更新しようと頑張っている姿を見ると、非常に嬉しく思います。授業の工夫ひとつで、生徒の取り組みがこんなにも変わるということを知り、改めて教材研究の大切さを実感しました。百マス計算を授業の始めに行うことで、4月に授業に集中できていなかった生徒も、少しずつ集中力が持続できるようになりました。

現在の勤務校の定時制課程は単学級であるため、数学の教員は私一人です。そのため、年間授業計画や定期考査の作成などの際に、戸惑うことが多いです。しかし、他教科の先生が親身になって相談に乗ってくれ、今は自分のスタイルを確立することに、日々、やりがいを感じています。

非常勤講師の時は、数学の授業でしか生徒と接する機会がなかったのですが、今は給食の時間や登校指導など、生徒と接する機会を多くもつことができています。数学の授業だけではなかなかコミュニケーションがとれない生徒でも、給食の時間などを通して、生徒の違った一面を見ることができ、毎日新たな発見があります。定時制の生徒の中には、中学校の時に不登校の経験など様々な経験をしている生徒がいます。

そのような経験をしている生徒は、自分の存在を見つめ直し、明るく前向きに学校生活を送っているように感じます。そのような今まで出会ったことのない生徒と学校生活を送っていけることを非常に嬉しく思います。これから、一生涯、教員生活を送っていけるよう、今の経験を生かし、日々努力して頑張っていきたいと思います。今後ともご指導の程、よろしくお願い致します。

新潟県阿賀野市立京ヶ瀬中学校
教諭 石川 歩

教師になって二ヶ月が過ぎ、「先生」と呼ばれることによりやく慣れました。毎日が忙しく、休日が大変貴重だと感じるようになりました。京ヶ瀬中学校は、二人担任制のため一年生の担任をしています。部活動は、女子バスケットボール部の副顧問です。

教師は想像より多くの仕事があり、教育実習の比でないことに驚きました。わからないことだらけで、最初緊張と焦りでパニック状態でした。勤務して、「人に聞く」「一人で抱え込まず、他の先生に相談する」ことの重要さを実感しました。社会人生活のスタートで、職場でよい人間関係が築けたことは本当に良かったと思います。

一番苦勞しているのは学級経営です。違う小学校から集まった生徒は、それぞれが強烈な個性を持っています。それゆえ色々な悩みがあったりして衝突が起きています。生徒全員がこのクラスでよかったと思えるような学級を作ることを目指し、毎日試行錯誤しています。

授業は、少人数制で大体二十人ほどで、一年生と二年生を担当しています。最初授業をやる上で心がけたのは、堂々と授業を

することです。まだ若いということで、生徒は第一印象で不安なところがあったようでした。前回の授業の復習と基本の定着を図るため、毎回授業の最初に確認テストを行っています。しかし、なかなか成果はできません。弱点を見つけ、一人一人にコメントを書くのが大変で、印だけにしようと思うことがあります。中には、コメントをしっかりと読み、学習し、「数学好きになった」と言ってくれる生徒がいます。そんなとき、頑張ろうという気持ちになります。

念願だった教師になったのですが、一ヶ月勤務した頃、なぜ教師をやっているのだろうと考えました。一日中落ち込んでいることもありました。しかし、生徒の一言で落ち込む自分もいれば、生徒の一言で復活する自分もいます。教師が生徒のことを見ているように、生徒も教師のことを見られています。生徒が成長していく大事な三年間、共に過ごしていけることは幸せなことだと思います。

三年間が生徒にとって社会にでていくためのしっかりした土台になるよう、中学生生活が実のあるものだったと思えるようサポートしていきたいです。そのサポートができるように、日々自分を磨いていこうと思います。

東京都立蒲田高等学校
教諭 藤澤 友美子

教師になって二ヶ月が経ちました。平日は毎日の授業、校務分掌の仕事に追われ、休日も部活動の指導があり、休みもない多忙な日々ですが、夢であった教師としての毎日は、とても充実しています。

教師になって、一番感じるのは、生徒との信頼関係を築くことの重要性です。生徒は、教師をよく見て、教師の本当の気持ちを探ろうとしています。そのため、私は、生徒との時間を一番大切にしています。生徒一人一人の目を見て、明るく挨拶をして、休み時間や、授業の合間には積極的に生徒

に話しかけています。授業の中では見られない生徒の姿を見て、話を聞いて、生徒との関係が作られていくと思います。

授業は、数学 A、数学 を担当しています。毎時間プリントを作成して、授業後には回収・採点をしています。授業中は、積極的に生徒へ発問して、問題演習の時間中は、机間巡視をして、一人一人の学力の向上に努めています。回収したプリントからは、生徒の理解度確かめ、アンケートから、授業を振り返り、次の授業に生かす努力をしています。まだ、うまくいかないことが多いですが、一時間一時間の授業を精一杯行い、生徒と一緒に授業を作っているように努力をしています。

部活動は、女子バレー部と吹奏楽部の兼任顧問をしています。私は、中学校と高校で吹奏楽部に所属する文化系でしたが、女子バレー部の顧問となりました。運動音痴の私ですが、毎日、生徒と一緒に身体を動かし、練習に励んでいます。技術がなくても、一生懸命な姿は、生徒の心に響くもので、今では授業の後に部活動に参加することが楽しみになっています。

日々の中で、生徒は色々な表情を見せてくれます。怒った顔、泣いた顔、笑った顔・・・。どんな生徒の表情にも、精一杯今を生きている素晴らしさがあります。自分の思うようにいかず、悩み考えさせられることは多くありますが、「生徒のためならどんなことでも頑張れる！」今は、心からそう思えます。これからも、色々な事が多く待っているとありますが、生徒と一緒に成長していけるそんな教師でいたいと思います。

私立(東京)田園調布学園中等部・高等部
専任講師 入 英樹

私は今年3月に応用物理学科を卒業して、現在は田園調布学園の専任教師をしています。

勤め始めてから約2ヶ月が経ち、教師の大変さと楽しさの両面を経験しています。興味の湧く授業、驚きの連続する実験をすると、生徒は理科(物理)に興味を持ちます。

しかし私は、最近、生徒は内心、授業が楽しいのは当たり前前で、「大学受験に対応できる教師」を求めていると実感しています。偏差値の高い大学へ行くことが全ての生徒にとって一番良い道であるとは思いませんが、少なからず大学へ行くことを今の目標にしている生徒がいるのであれば、教師はその生徒の目標達成のために手助け

をする必要があります。私が担当しているクラスの生徒は勿論、担当以外の生徒でも、問題で分からないところがあると私のところに質問をしに来ます。その生徒のやる気を大切にして、どんなに忙しくても、時間を惜しまず、分かりやすく説明をしようと思がけています。そのために私は常に勉強を怠らず、日々成長する教師を目指します。

また、教師は授業だけをすればいいのではなく、校務・部活動・生活指導など多くの仕事があります。幸い、私は幼少の頃から続けているバスケットボールの顧問になったので、私にとって部活動がオアシスのような存在になっています。私が培ってきた技術、知識を伝えられるため、とてもやりがいがあります。最近は、部活動をすることで得られる「礼儀」「集団コミュニケーション能力」「達成感」などを生徒に伝えられつつあります。

しかし、楽しい仕事ばかりでなく、慣れない事務処理など、教師の仕事の多さには驚いています。私はどんなに辛くても、生徒の前では常に笑顔を絶やさずにいようと思います。生徒にとっては教師1年目であろうが、教師には変わりないのです。そのことを常に頭に入れて、学習指導、生活指導両面において、生徒とともに日々精進したいと思います。

最後になりましたが、今私がこうして教師という職業につけたのは、大学の先生方のご指導のおかげです。本当に感謝しています。今後ともご指導の程、宜しくお願い致します。

東京理科大学ホームカミングデー

Home Coming Day

教育会会員は積極的に参加しましょう>

理窓会が大学と協力して、全国の卒業生が野田校舎に集い、絆を深め、連帯を強めて自らの力となすとともに、大学の社会的知名度をさらに向上させるため行う一大イベントです。

2006年10月8日(日)

10:00 ~ 17:00

東京理科大学野田校舎

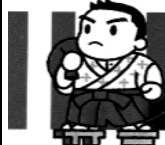
問い合わせ

理窓会事務局

Tel 03-3260-0725

Fax 03-3260-425

<http://risoukai.rikadai.jp/>



創立125周年記念
イメージキャラクター
「坊っちゃん」

参加券 10,000円

振り込み用紙の無い方:

理窓会事務局、理科大生協、当日会場販売

催物

- ・開会式 (総合司会 桂歌助)
- ・記念講演 (堀場雅夫氏、藤嶋昭氏)
- ・コンサート、Live & Stage、大抽選会
- ・自由参加イベント(参加券無し可、出合いの広場、125年史展、理科大/TLO・産学連携展、親子科学実験教室、学内散歩)

同窓の活躍

「感動ある学び」は人格を育てる

京華女子中学高等学校
校長 廣瀬和昭(48歳卒)

京華女子中学高等学校を擁する学校法人京華学園は明治30年に東京の文京区に創立した。来年度は創立百十周年に当たり、さらなる教育改革をしながら躍進している。「天下の英才を得て、之を教育す」を建学の精神として、生徒一人一人に秘められた無限の可能性を引き出す教育を行っている。**授業の質を高める**

学校が良くなっていく一番大切なことは、教員の一人ひとりが任された自分の教科指導をしっかりとすることである。学校なのだから当たり前なことではあるが、これがうまくいっていない場合が多い。私学の場合は、教員の移動が余りないので何年も同じ顔ぶれで教鞭をとっている。小規模校の場合には、単位数の少ない教科ならば、一人の教員が二十年も三十年も一人だけで教科を運営していくこともある。そのためにいつのまにか環境に慣れてしまい、刺激が少なくなり緊張感が薄れて来ることがある。生徒を前にして緊張感が薄れていくときが、学校にとっては低迷期につながっていく時である。同じ教科の教員が指導の方向性を共有し、一丸となって研修を積んだり協力しあったりしながらまとまっていくと、不思議なほど生徒に充実した学校の雰囲気は伝わっていく。その結果、その教科指導は望ましい方向に進んで、生徒の学力向上に繋り、生徒の満足度も高まり、その結果、外から見た学校の評価は良くなっていく。

全力で行事に取り組む生徒たち

京華女子の特徴は小規模できめ細やかな教育を行っていることである。今年の卒業生に対してアンケートを行ったところ、95%の卒業生が京華女子に入学をして良かったと回答している。

その内容は「学校行事が思いっきりできた」「受験勉強は苦しかったが先生や生徒と楽しく話すことで救われた」「回りが女子だけなので気兼ねなく話せた」というものであった。中学校や高等学校は、座学だけに力点を置いても生徒は納得いかない。思いっきり汗を流せる場面があることが重要だ。その汗を流せる場面が体育祭や球技大会、文化祭である。勉強ができる、できないに

関わらず、クラスの仲間と共有した喜怒哀楽を思いっきり表現できる場面があることは、生徒の成長には重要である。体育祭はクラス対抗で行う競技があるが、朝遅刻の多い生徒であっても、クラスが呼びかけて早朝練習が予定されると、始業時刻の一時も前から校庭で練習している姿を見かけることがある。このような生徒の行動を見るにつけ、迷っている生徒も自分の居場所を見つけて元気をだしているのだなと感激。

女子校だから良かった

共学校が増えてきている昨今、本校は女子校を変更することもなく、このまま女子校を存続させるべく改革を進めている。今、この時代だからこそ女子校教育の重要性を社会にも生徒にも知ってもらいたいと改革に取り組んでいる。少子化社会の中で女性の果たす役割とは何かを、三十歳の自分の姿をシミュレーションすることにより具体的に創造するキャリア教育を行っている。

キャンパスライフは人格を育てる

本校は今年度の中学と高校の入学者が増加して、クラス数がそれぞれ一クラスずつ増加した。この増加の原因は、在学生のキャンパスライフの満足度をあげるために、日々学校改革をすすめていることが評価されたと考えている。教育は「知育・徳育・体育」の調和がとれたバランスを保ち続ける発想が重要である。京華女子はクラブへの加入率が80%を超えている。授業は三時に終了するが、それから、生徒一人ひとりの目標に向かって自主的な活動が始まる。勉強ゼミは五時まで続き、上下関係のはっきりしたクラブ活動は七時まで練習がある。相談室でカウンセリングを受けている生徒もいる。インターネットで調べ物学習をしながら、レポートを作成していたり、図書室で勉強しているものもいる。進路指導室では進路選択の学校探しをしているもの、生活指導室では面接を受けているものなど学校全体が活気付いている。生徒が放課後、学校に残って活動しているのは、教師と生徒との信頼関係が出来ていて、「教えてください」という気持ちを生徒が持っていることの証である。プラス志向で学校生活を送る生徒は、知識の吸収率がいいものだ。プラス志向の生徒と教えることを天職と思って生徒の前に立っている先生とのコラボレーションは感動に値する光景である。

(「平成 18 年度 東京理科大学理窓教育会 副会長 支部長 名簿」は、
会員各位への配布資料をご参照下さい)

会費納入状況

理窓教育会 平成17年度支部別会費納入口数

県名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
北海道													0
青森	1												1
岩手					33								33
宮城	6	1	1		7			3					18
秋田	2					4	1						7
山形													0
福島													0
茨城	1	1		2			21				1		26
栃木													0
群馬	1						1		14				16
埼玉	7	2		28			1	1					39
千葉	1					1			1				4
東京	19	5	1	14	6	5					1	6	61
神奈川	8	2			3	1	2					2	18
山梨	1												1
長野													0
静岡							1					20	21
愛知	1				1		1						3
岐阜			1										1
三重		1											1
新潟						1							1
富山			9				8						17
石川													0
福井		8											8
滋賀													0
京都				9			1						10
大阪	2												2
兵庫	2	1	1										4
奈良													0
和歌山													0
鳥取		1											1
島根													0
岡山	3												3
広島	1				2	2							5
山口											3		3
徳島													0
香川		1											1
愛媛	1												1
高知	1					1							2
福岡					5								5
佐賀	3												3
長崎		1											1
熊本					1								1
大分		3											3
宮崎													0
鹿児島		3											3
沖縄													0
合計	61	30	13	53	58	15	37	4	15	0	13	25	324

(昨年 416)

会費納入状況

注：会計決算日の変更をいたしました。今年度から決算日を3月31日（昨年度5月31日）といたしました。従って、今年度は昨年度より4月、5月の分だけ少額になっております。

事務局について（再掲載）

理窓教育会総務理事（33理数）開沼恒治

理窓教育会事務局を下記の理窓会事務室に同居させていただいております。しかし、常駐事務担当者、教育会専用の電話、FAXは財政上、置けない状況です。

会員のみなさまには甚だご不便をおかけいたしますが、当面、郵送による「書面」でのご連絡をお願いいたします。

1. 書面での連絡先

〒162-0825東京都新宿区神楽坂2-13-1
理窓会館4階 理窓会事務所内
東京理科大学理窓教育会 宛

2. 急ぎの連絡（メール通信）
msito330@rs.kagu.tus.ac.jp（11/2変更）
（総務理事 伊藤 操）

理窓教育会ホームページ開設（再掲載）

「東京理科大学同窓会」のホームページの中に「理窓教育会」のものがあります。ホームページアドレスは次の通りです。

<http://risoukai.rikadai.jp/>

検索で「東京理科大学同窓会」を入力して、トップページを開き、「関連団体ホームページ」をクリックし、さらに「教育会」をクリックしても開きます。